

2020年度
大阪経済大学 大学院

人間科学研究科 臨床心理学専攻 修士課程

ゼミ案内

◎教員との面談を希望する場合はHPよりお申し込みください。
日曜・祝日および大学休業日、出願期間～試験日の間は面談できません。
面談希望日に希望教員との調整が見つからない場合があります。時間に余裕をもって
お申し込みください。

◎本学入試情報サイト「大学院入試」にも本案内を掲載しております。
<http://www.osaka-ue.ac.jp/entrance/admissions/graduate/>

担当教員	鵜飼 奈津子
テーマ	子どもの精神分析的な心理療法をめぐって
受講についての必要な予備知識	発達心理学および心理療法の基本的な知識(学部卒業程度)を持っていることが望ましい
評価の方法	修士論文作成過程におけるまとめやレポートの進捗状況により評価
研究指導について	<p>精神分析理論や子どものころについて関心を持ち、大学院での研究および臨床トレーニングを求める学生は年々増加しています。しかし、一口に精神分析理論や子どものころといっても、私たち専門家の領域はより深く分化していますし、それぞれの学生の興味・関心も幅広いものがあります。</p> <p>そこで、研究指導1年次春学期には、精神分析理論の中でも特に英国対象関係論の理論に親しむため、さまざまな文献の講読を行います。自閉症などの発達障害や被虐待児のころの理解に関しても、英国対象関係論の視点を中心に、愛着理論・研究、認知・発達心理学や脳神経科学など、近年精神分析が知見の交流を持つ他分野領域からの視点も豊富に取り入れた、幅広い理解を目指します。それを通して、それぞれの興味・関心が、どのように理論と実践に結びついた研究成果としての修士論文にまとめていくことができるのか、各自の研究テーマの選定を目指します。1年次秋学期以降は、各自の選定した研究テーマに基づいて、具体的な研究計画を立て、それぞれの計画日程に添う形で研究をスタートさせます。その進捗状況をチェックしながら、必要に応じて計画の変更・調整を行いつつ、最終的に、2年次終了時の修士論文の完成を目指します。</p>
志願者へのメッセージ	大学院修了後、自分はどうのような臨床心理士／公認心理師になりたいのかを見据えながら、共に研鑽を積んでいきましょう。

担当教員	古賀 恵里子
テーマ	集団精神療法、成長や回復を可能にする環境としての治療共同体、精神科医療における心理臨床
受講についての必要な予備知識	集団精神療法や集団力動の基礎的知識を身に付けていることが望ましい
評価の方法	修士論文作成過程におけるまとめや進捗状況
研究指導について	<p>集団精神療法は様々な臨床現場で広く実践されているアプローチです。集団精神療法では、対人関係に困難を感じているクライアントが、安全なバウンダリーの中で、他のメンバーやセラピストと相互交流しながら自分自身について探索することができます。また、臨床現場も一つの集団です。臨床現場が、個々の治療が有効に作用し、クライアントの成長や回復を可能とする環境となるには何が必要なのかについて、一人一人がしっかり考えていただきたいと思います。</p> <p>1年次春学期には、集団精神療法や治療共同体に関する文献を読んで理解を広げ深めます。その中で、自分が興味をもつ対象や領域を同定し、1年次秋学期には、そのテーマを更に明確にして研究計画を作成し、2年次に向けて研究活動、論文執筆を進めます。自分の問題意識を、あきらめずに追究して下さい。</p> <p>研究を進めることと並行して、自分自身への気付きを高めるために、「体験グループ」に参加することを奨励します。</p>
志願者へのメッセージ	個人と、個人をとりまく集団の間で何が起きているのかを、しっかり見つめる目を育てましょう

担当教員	中川 一郎
テーマ	人と地球を考え、行動する心理学
受講についての必要な予備知識	基礎心理学と臨床心理学に関する知識に加えて、フィールドワーク、ボランティア活動、臨床経験などを通して、人々の生活と苦悩に関する理解や共感性。「調べる・学ぶ・思考する・表現する・議論する」などの基礎能力。
評価の方法	実践・研究・修士論文への取り組みを総合的に評価。
研究指導について	<p>臨床心理学とは、心の健康と病気に関する理解を深め、人々の苦悩を和らげる為の心理的援助に関する学問です。現代社会は、心の病気を予防し、より健康な生活のための心のケアを必要としています。</p> <p>このゼミでは、科学者-実践家モデル (Science-practitioner model) とホリスティック (全体的・統合的) 理論を基礎に、それぞれの院生の興味を中心に研究を進め、臨床心理学者としての知識や能力を高めることを目的とします。</p> <p>また、心のケアの専門家は人間的な成長や社会性も求められるので、理論や知識の習得に偏らず、積極的なディスカッション、体験学習、フィールドワークなども大切にします。</p> <p>各自の研究テーマと修士論文の作成に関しては、自律的・積極的な姿勢を求めます。</p>
志願者へのメッセージ	2年間はとても短いです。全力で学び、実践と研究をとおして、人・社会・地球にほんとうに役立つ心のケアの専門家に成長してください。